

平成 26 年 2 月 26 日
松山河川国道事務所調査第一課

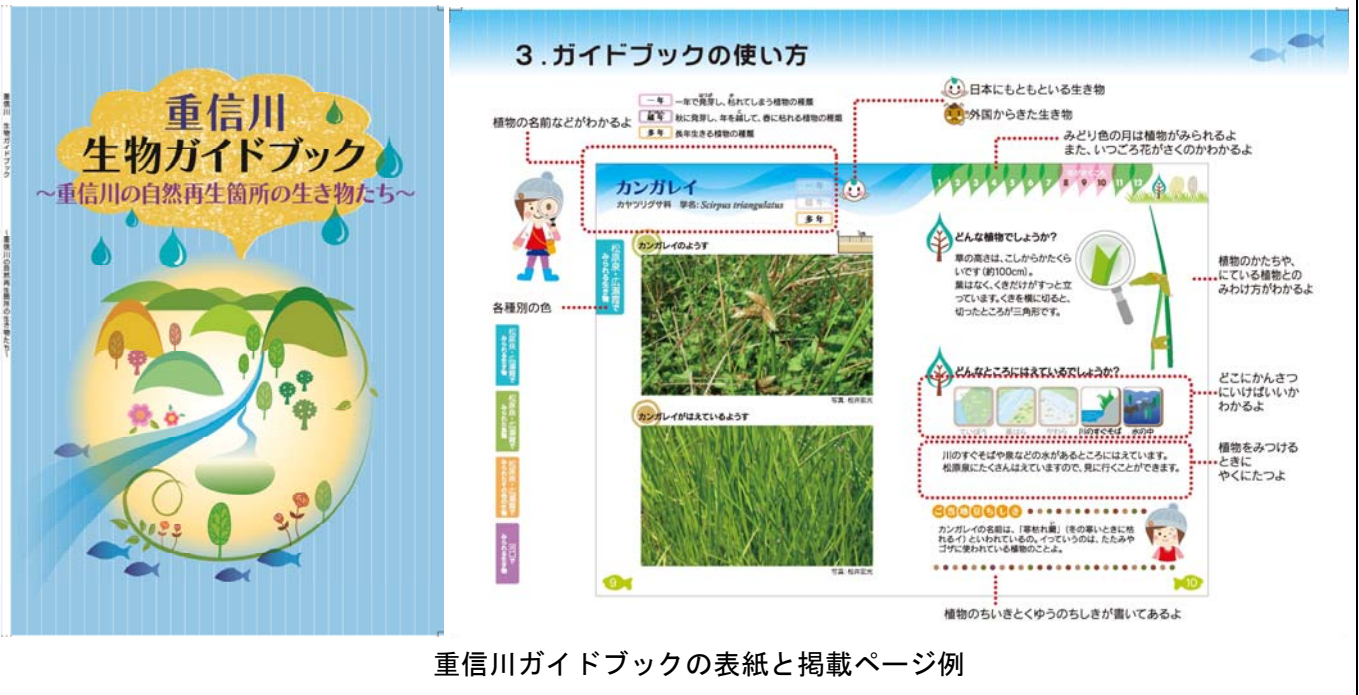
「重信川生物ガイドブック～重信川の自然再生箇所の生き物たち～」が完成

～小学生向けの重信川自然再生箇所の代表生物をまとめたガイドブックを作成～

重信川に多くの小・中学生が訪れて、生息・生育する生物を観察して、その生物の生態について理解し、より良い河川環境保全に向けて学習してもらおう事を願い、その一助となるガイドブックを作成しました。

重信川生物ガイドブックは、基本的に小学生の河川環境学習に活用するために作成しており、これまでも実施している小・中学生の出前講座等で活用することを考えていますが、河川環境教育に取り組む方々や希望する重信川周辺の住民の方々にもお渡しする事は可能（数に限りがあります）ですので、重信川自然をはぐくむ会事務局（松山河川国道事務所調査第一課（TEL：089-972-0612）までお問い合わせください。

- ・ サイズ：A5 カラー版、
- ・ 総ページ数：56 ページ、
- ・ 印刷部数：2,000 部
- ・ 内容：重信川自然再生【別紙 1】（松原泉、広瀬霞、河口ヨシ原）箇所の代表生物を写真、図で紹介



重信川ガイドブックの表紙と掲載ページ例

詳細については当事務所HP (<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>) をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：関谷 浩二（内線：204）

◎ 調査第一課長：岩本 康宏（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6621

◎：主な問い合わせ先

別紙 1

国土交通省松山河川国道事務所では、重信川自然再生事業に平成14年度から取り組んでおり、計画づくりなどを実施後、平成16年度から工事を行い、現在3箇所が完成している。

- 松原泉・小川の再生 : 平成16年10月着手、平成18年7月完成
- 広瀬霞の再生 : 平成18年10月着手、平成20年2月完成
- 河口ヨシ原再生（一期工事） : 平成20年10月着手、平成24年3月完成

完成後、植生が一定繁茂することで、様々な生物が戻ってきており、今では絶滅危惧種に指定されているニホンイモリ、メダカ、ハクセンシオマネキ、マツモ、ハマサジなどが確認される一方で、外来種であるセイタカアワダチソウ、オオカワヂシャ、オオクチバス（ブラックバス）なども確認されています。

自然再生事業箇所を確認されるこれらの代表的な生物について、どのような生物で、どのような場所で見られるのか写真とイラストを用いて、小学生でも分かりやすいものとして、重信川の自然をはぐくむ会会員である松山東雲短期大学松井宏光名誉教授の監修を受けて作成しました。

多くの小・中学生が重信川の現地を訪れて、生息・生育する生物を観察して、その生物の生態について理解し、より良い河川環境保全に向けた学習が推進する事を願っています。



重信川河口箇所での小学生の河川環境学習



松原泉・小川箇所での小学生の河川環境学習



ハマサジ



メダカ



オオキンケイギク



オオクチバス
(ブラックバス)